

伊賀市多文化共生推進プラン

〈第1期(2023-2026)〉

概要版



2023(令和5)年2月
伊賀市



みんなで一緒にはじめよう

มาเริ่มกันเลย

Mari kita mulai bersama

Empecemos juntos

让我们一起加油吧

Chúng ta hãy cùng nhau bắt đầu

Vamos começar juntos

讓我們一起加油吧

Sabay sabay tayong magsimula

모두 함께 시작합시다

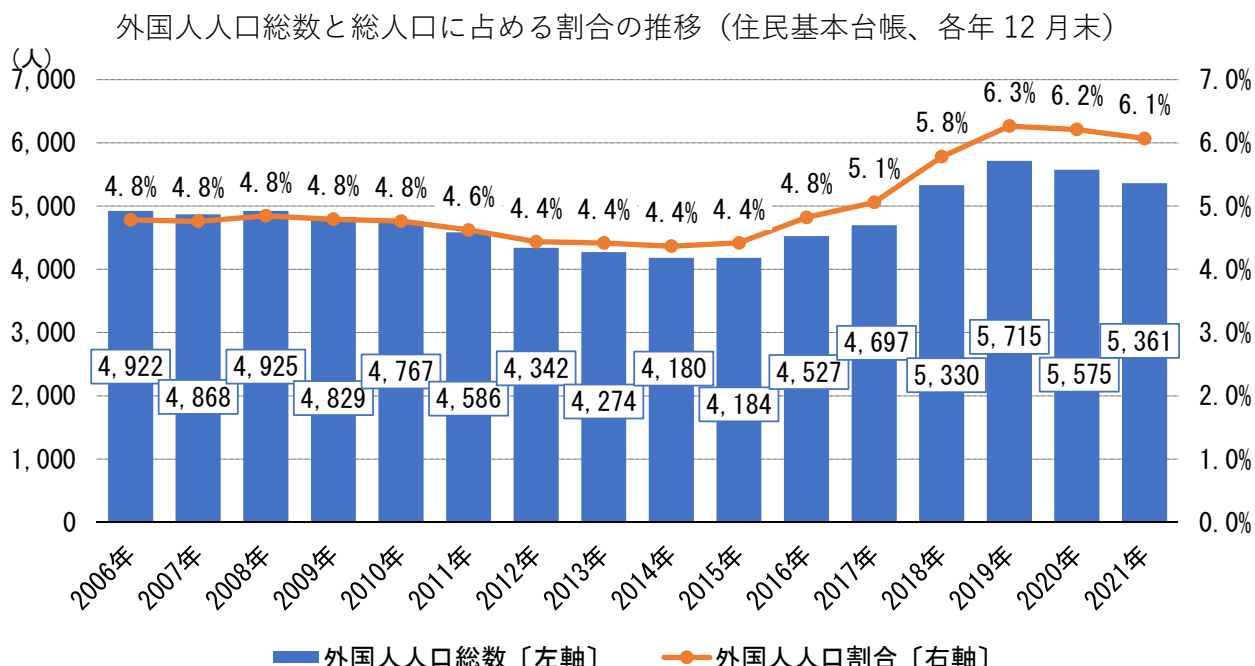
Let's all start together

伊賀市における多文化共生

近年増加傾向にある外国人人口

伊賀市の外国人人口は、リーマンショックなどの影響もあって2009（平成21）年から2014（平成26）年にかけてやや減少したものの、その後増加に転じ、2019（令和元）年には5,715人と過去最多となり、2021（令和3）年現在で5,361人となっています。総人口が2006（平成18）年から2021（令和3）年までの15年間で14.2%減少したのに対し、**外国人人口は8.9%増加**しています。

外国人人口の総人口に占める割合は6.1%で、**県内市町で2番目に高い割合**です。

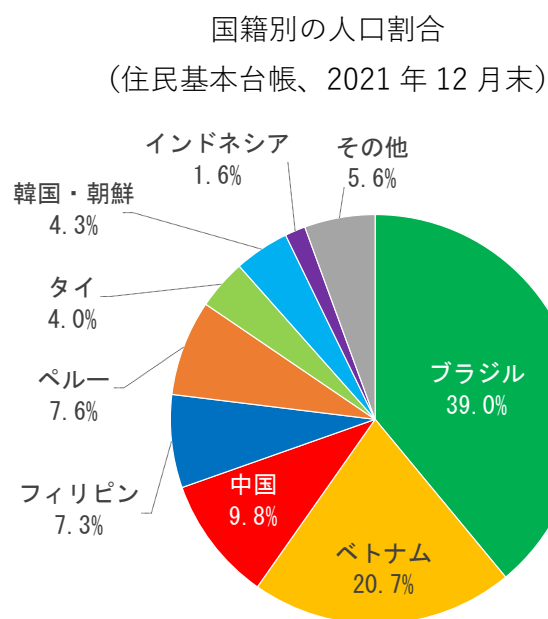


進む多国籍化

2021（令和3）年現在、市内在住の外国人の**国籍は44か国**に及びます。

国籍別にみると、ブラジルは減少傾向にあるものの、2021（令和3）年現在、外国人人口の約40%を占めています。一方、近年はベトナムの増加が著しく、2006（平成18）年に比べて約16倍となっており全体の約20%を占めています。

また、2006（平成18）年と2021（令和3）年の国籍別人口割合を比較すると、**東南アジア諸国が増加**しています。

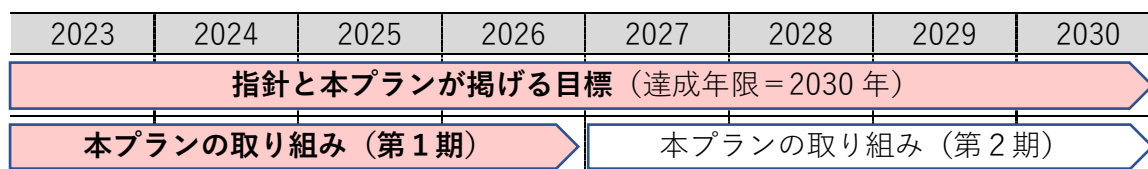


プラン策定の趣旨と計画期間

本市は、「伊賀市自治基本条例」を基本に置き、総合計画や人権施策総合計画に基づき、性別や年齢、居住地などとともに国籍による分け隔てのない地域づくりをめざして取り組んできました。しかしながら、外国人住民の増加や定住化に伴い、日本で生まれた外国につながる子どもの増加や高齢化への対応など新たな課題がみられるようになりました。こうした状況や社会情勢の変化を背景として、「誰一人取り残さない持続可能な伊賀市」の実現に向けて「**オール伊賀市**(※7ページを参照)」で取り組むため、2021(令和3)年8月に「伊賀市多文化共生指針」を策定しました。本プランは、この指針で示した「伊賀市がめざす多文化共生のあるべき姿」のイメージを共有し、同じ目標に向かってそれぞれの立場で取り組みを計画的に推進していくため策定するものです。

外国人住民が社会的不利益を被ることなく、日本人住民と対等な関係になり、共にまちづくりに参画し、すべての人が「**住みよさを実感できる伊賀市**」をめざします。

あわせて、多様な主体が連携し、顔の見える関係を築いていくことで既存の価値観の枠を超えた**新たな伊賀市の価値の創造**をめざします。



本プランは目標の達成年限を2030(令和12)年度に設定し、具体的な取り組みにかかる計画期間(第1期)は2023(令和5)年度から2026(令和8)年度までとします。

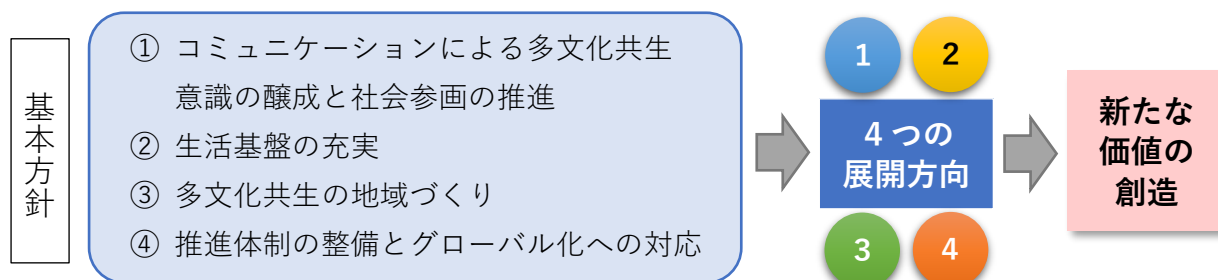
プランの基本的な考え方

〔基本理念〕

互いの文化的背景や多様性を認め合い住みよさを実感でき、
ともに新たな価値を創造する社会の実現

〔基本方針と施策の展開方向〕

4つの基本方針のもと、施策を効果的・効率的に進めるため、次ページからの4つの「施策の展開方向」に基づき多文化共生の地域づくりを推進します。



施策の展開

展開方向1 だれもが安全に安心して暮らせる地域づくり

〔オール伊賀市でめざす将来の姿〕

- ◇ 日頃から顔の見える関係を築き、災害時などに誰もが地域社会の一員として受け入れられ活躍する場がある。
- ◇ 福祉の制度や日本社会の習慣などを学習できる機会があり、また気軽に相談できる窓口や情報提供が充実している。
- ◇ 地域やネットワークを通じて支援を必要とする人が取り残されることなく、必要な支援が届く仕組みができています。

指標	伊賀市に住んでとてもよかったと感じている外国人の割合	現状値(2022) 39%	目標値(2026) 45%
	外国人防災リーダー研修受講者 累計人数	現状値(2022) 14人	目標値(2026) 35人

〔オール伊賀市による取組の方向〕

- 1-A-(1) 災害時・緊急時における協働体制の確立
- 1-A-(2) 外国人住民の高齢化への対応
- 1-A-(3) 地域における生活支援の充実
- 1-A-(4) 生活困窮等対策の充実
- 1-B-(1) さまざまな相談に対する支援の充実
- 1-C-(1) 就労と居住に関する支援の充実
- 1-C-(2) 外国人差別への対応

「施策の取組の方向」は、

- 「A」 早急に取り組むべきもの
- 「B」 すぐに取り組めるもの
- 「C」 じっくり取り組むものと分類し表記しています。(以下同)

主な事業（抜粋）

- ◆さまざまなツールを通じた情報提供
- ◆情報伝達のしくみづくり
- ◆外国人防災リーダーの養成
- ◆生活オリエンテーションやセミナーの実施
- ◆地域等における「まとめ役」となる人材の育成

など



防災リーダー研修



生活オリエンテーションシート

展開方向2 教育・子育てしやすい地域づくり

〔オール伊賀市でめざす将来の姿〕

- ◇ 子どもの成長段階に応じた日本語教育を提供し、切れ目のない支援を学校、地域、団体等が連携して行っている。
- ◇ 子どもたちがアイデンティティや自尊意識を持ち、高等教育を含めて将来を選択できる環境や社会の受入れ体制ができている。
- ◇ 子育て世帯における保護者の就労環境が向上し、国籍や文化の違いに関係なく子育ての悩みを相談できる体制や交流、学びの機会がある。

指標	とても子育てしやすいと感じる人の割合	現状値(2022) 39%	目標値(2026) 55%
	高等学校への進学率	参考値(2021) 95%	目標値(2026) 100%

〔オール伊賀市による取組の方向〕

- 2-A-(1) 子育て情報の充実
- 2-A-(2) 子ども・若者の居場所づくり
- 2-B-(1) 児童生徒一人ひとりに合った教育の推進
- 2-B-(2) 子育て支援に関する相談の充実
- 2-C-(1) 日本語指導、進学指導の充実
- 2-C-(2) 就学に関する情報提供の充実

主な事業（抜粋）

- ◆子育てセミナー・交流会の開催
- ◆窓口における対応力の向上
- ◆支援が必要な子どもの早期発見
- ◆関係機関における情報・課題共有の場づくり
- ◆地域における子ども・若者の居場所づくりに関する取組の推進 など



漢字学習支援ボランティア研修会



ささゆり教室



図書館の読み聞かせ



進路ガイダンス

展開方向3 国籍を越えた交流による地域づくり

〔オール伊賀市でめざす将来の姿〕

- ◇ 社会参画するために必要な日本語に関して合理的な配慮ができ、誰もが「やさしい日本語」を使って交流ができています。
- ◇ 生活に役立つ情報が多言語または「やさしい日本語」で発信され、必要な人に必要な情報が届く仕組みができています。
- ◇ 伊賀市民として国籍に関係なく交流や学びができ、互いに支え合える社会となっている。

指標	日本人との交流がある外国人の割合	現状値(2022)	目標値(2026)
		44%	50%
指標	「やさしい日本語」の研修受講者 累計人数	現状値(2022)	目標値(2026)
		35人	180人

〔オール伊賀市による取組の方向〕

- 3-A-(1) 「やさしい日本語」の普及
- 3-B-(1) 文化・スポーツ交流の促進
- 3-C-(1) 学習・文化活動に参加できる環境づくり
- 3-C-(2) 外国人住民との連携・協働

主な事業

- ◆ 行政職員向け「やさしい日本語」の研修実施・普及
- ◆ 地域や企業等での「やさしい日本語」に関する取組の推進・普及



国際交流フェスタ



多文化理解講座

「やさしい日本語」とは、難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。外国人、高齢者や障がいのある人など、多くの人に日本語を使ってわかりやすく伝えようとするものです。「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」(2020年8月)は、下記URLまたは二次元コードからご覧になれます。

https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/pdf/92484001_01.pdf



展開方向4 外国人住民も活躍する地域づくり

〔オール伊賀市でめざす将来の姿〕

- ◇ 外国につながりを持つ人々の意見をまちづくりに反映するしくみができている。
- ◇ 子ども・高齢者・障がいのある人・外国人住民など全ての人が自分らしく活躍でき、地域コミュニティで助け合いながら暮らす仕組みができている。
- ◇ NPO との連携や民間資金の活用を図り、多様な主体が関わることで外国人住民が地域活動やボランティア活動に参加している。

指標	外国人住民の審議会等委員 延べ人数	現状値 2022	目標値 2026
		5人	8人
指標	差別を受けたことがある人の割合	現状値 2022	目標値 2026
		21%	0%

〔オール伊賀市による取組の方向〕

- 4-A-(1) 日本語学習機会の拡充
- 4-A-(2) 双方向による情報受発信
- 4-A-(3) 外国人への偏見・差別の解消
- 4-B-(1) 住民の声を聴くための機会づくり
- 4-C-(1) まちづくり、地域づくりへの参画
- 4-C-(2) 外国人住民の人材育成と支援者の人材育成
- 4-C-(3) 外国人起業家などへの支援

主な事業（抜粋）

- ◆日本語学習の機会づくり
- ◆日本語教育活動コーディネート
- ◆学習支援教室の開催
- ◆外国人サポーターなどの人材発掘と活動のマッチング
- ◆多文化理解のための交流機会の創出 など



サポーター養成講座

5 「新たな価値の創造」に向けて

本市には外国人住民同士の助け合いが存在し、外国人住民が日本人住民の生活の支援をしている例もあり、外国人住民の役割や重要性についても理解することが必要です。こうした潜在的な魅力に気づき、発信することで人口流出の抑制や定住人口の増加が見込め、移住者・関係人口を増やし、持続可能な伊賀市が実現できます。

また、社会のデジタル化などの社会的革新と、多文化共生から生まれる「新たな価値」が融合することで、従来の発想では不可能だと考えられていたことが可能になったり、地域における永年の課題が解決したりするかもしれません。

多文化共生の先にもたらされる「新たな価値」の創造のためにも、本プランの取組を市民一人ひとりや各主体が我が事としてとらえ、連携・協働することが求められます。

「オール伊賀市」によるプランの推進

本プランの推進に「オール伊賀市」で取り組むため、多文化共生推進プラン委員会を核として**市民、住民自治協議会、企業、各種団体、行政の連携・協働**のもと、具体的な行動・実践につなげることで事業を推進します。

プランでは次のような役割が期待されています。多文化共生に関心をお持ちいただき、できることから取り組んでいただくよう、ご理解、ご協力のほどお願いいたします。

〔各主体に期待される役割〕

市 民	<ul style="list-style-type: none"> ● 国籍の違いを越えてともに伊賀市を支えていくため、多文化共生に対する関心を持ち、理解を深めるとともに、身近な人への助け合いや見守りの気持ちを持ちます。
住 民 自 治 協 議 会	<ul style="list-style-type: none"> ● 交流機会を設けて普段からの関係づくりを行いつつ、外国人住民を地域の担い手として受け入れ、協力・共創による地域づくりを進めます。
企 業	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人労働者が働きやすく、活躍できる環境を整えながら、子育てと仕事の両立を支援するとともに、事業所内での情報提供や相談し合える関係づくりを行います。
各 種 団 体	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報発信やコミュニケーション支援、学習支援などを通じて、地域などでの関係づくりのためのコーディネートを行うなど、外国人住民と日本人住民との「架け橋」としての役割を担います。
行 政	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域などでの関係づくりや外国人住民が活躍できる環境づくりに向けて、情報提供や交流の機会づくりを支援しつつ、必要な人への相談・支援の体制づくりを行います。

市政や生活に関する情報はこちらから

伊賀市公式ホームページ	伊賀市多文化共生センター ホームページ	伊賀市多文化共生センター フェイスブック
 	 	 
<input type="radio"/> English <input type="radio"/> Português <input type="radio"/> Español <input type="radio"/> 中文 <input type="radio"/> やさしいにほんご	<input type="radio"/> English <input type="radio"/> Português <input type="radio"/> Español <input type="radio"/> Tiếng Việt <input type="radio"/> 中文 <input type="radio"/> やさしいにほんご	<input type="radio"/> やさしいにほんご ほか

伊賀市多文化共生推進プラン（第1期） 概要版

発行／伊賀市 発行年月／2023(令和5)年2月 編集／伊賀市 人権生活環境部 多文化共生課
〒518-8501 三重県伊賀市四十九町 3184 番地 Tel：0595-22-9702 Fax：0595-22-9641